



村上誠一郎氏(衆院2区)

安倍さん、最も基本的な問題を分かち合っているのか。内閣法制局は内閣の一部で、首相の自らが全責任を負っている

安倍さん、最も基本的な問題を分かち合っているのか。内閣法制局は内閣の一部で、首相の自らが全責任を負っている

自衛隊法などを改正したとする。しかし各地で違憲訴訟が起き、おそろしく最高裁は違憲判決を出すだろう。内閣ごとに解

界平和維持のための国際貢献、国際社会での地位と評価の確立といった点で、多角的視野に立った精緻な研究と議論が必要

平和主義の三原則は不磨の大典だと思う。これに関わる解釈変更は慎重の上にも慎重にしなければならぬ。特定秘密保護法のとくも基本的人権に

のにもあまりにも軽々に扱っている。今や内閣にも党三役にブレキ役がない。憲法解釈が論理的に間違っているなら、たとえトップがやると言っても、それはやめなさいというのが本当の自民党員だ。当たり前のことが通じなくなることは民主主義の危機。ファシズムが起

憲法解釈 司法に責任

首相は三権分立を軽視

から、解釈の責任も負えると考えられている。選挙で洗礼を受けているとの理屈だが、とんでもない間違いだ。憲法解釈の最終責任は司法にある。仮に解釈変更して集団

て社会は混乱する。(首相は)あまりに立憲主義や三権分立をないがしろにしている。

そもそも集団的自衛権の行使は本来に必要なものか。日本の安全保障や世

の独断と偏見でやっているのか。安倍さんは「憲法は不磨の大典ではない」と言

抵触する恐れがあったから可能性がある。日本が「真剣にやれ」と言っ

たが無視された。今回も

平和主義に関わる問題ない。